カ　畑作除草剤（大豆・とうもろこし・麦類・草地等）

|  |
| --- |
|  |

農薬等普及展示(長野県 2019)

（１行空け）

整理番号（全角） 課　題　名（左寄せ）

（１行空け）

農業改良普及センター

(試験場協力試験の場合は試験場名も並記)

（１行空け）

１ 目 的　（設計書の目的を記入する）

２ 設置場所

３ 担当者名　農業改良普及センター　　　　　　農家

４ 展示ほ設置方法

(1) ほ場条件

 ① 標高　　 ② 転換畑、畑の別

　　③ 土質(沖積、洪積、黒ボク)・土性(砂土、砂壌土、壌土、埴壌土、埴土)

 ④ 腐植の多少　　　 　⑤ ｐＨ　　 ⑥排水良否

　　⑦ 平年の雑草の発生状況 (主要雑草名と多少)

(2)耕種概要

 ① 品種　「　　　」 ② 播種日

③ 播種方法 ④ 施肥量

(3) 設置状況

① 面積、区制、１区　ａ

　　② 区割り見取り図

③ 処理時の状況

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 展示区 | 雑草の発生程度 | 作物の草丈、葉齢 | 土壌の乾湿 | 天候等 |  |
| (展) | 雑草発生前 |  |  |   |
| （対） | 一年生雑草（タネツケバナ30cm） |  |  | 　 |

注1　雑草の生育期処理剤の場合は、処理時における作物の草丈・葉令及び雑草の草丈・葉令を

　　　 必ず調査し、雑草の発生程度欄に記載する。

５ 供試薬剤

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 供試薬剤 | 散　　　　　　　布 | 　委託会社 |  |
| 時　　期 | 量(/水/10a) | 方　　　法 |
| (展) |  | 500 ml/150L |  | ○○○（株） |
| (対) |  |  |  |  |

６　展示成績

(1) 雑草調査(㎡当り) 　　　(調査日 月　日、処理後　　　日）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 供試薬剤 | メヒシバ | ノビエ | アカザ | タ　デ | 合　　計 |  |
| 風乾重g | 同左比率 ％ | 風乾重g | 同左比率 ％ | 風乾重g | 同左比率 ％ | 風乾重g | 同左比率 ％ | 風乾重g | 同左比率　％ |
| (展) |   |   |   |   |   |   |  |   |   |   |
| (対) |   |   |   |   |   |   |  |   |   |   |
| 無処理 |   |  |   |   |   |  |  |   |   |   |

 注１ 雑草の記載順序は一年生雑草、多年生雑草の順に記載する

 注２ 雑草名は原則として正式名称を用いる。類似草種(参考(2)参照)についてはノビエ、ホタルイ、タデ、カヤツリグサなどのように総称を用いることにし、必要に応じて正式名称を記載する。

 　注３ 風乾重は小数点以下1位または２位までとし、有効桁数を統一する。

 雑草発生の無いものについては０、 雑草発生はあるが四捨五入しても有効最小桁に入らないものはｔ(traceの略)、欠測は一とする。

　 注４ 風乾重比率は、無処理区に対する試験区の各草種別と合計の比率を整数で記載する。

比率が0.5未満のものはｔ、欠測または無除草区の雑草発生が無い草種については一とする。

　 注５ 調査地点は、雑草発生の多い場所と少ない場所とし、全体としてほ場の平均値となるようにする。

(2)　生育及び薬害調査

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 供試薬剤 | 生育良否 | 薬害程度 | 薬害症状 |
| (展) |  |  |  |
| (対) |  |  |  |
| 無処理 |  |  |  |

７　考察 (除草剤又は体系ごとに対照薬剤， 無処理に比較して)

　(1) 除草効果(全般的効果，及び対象雑草への効果)

　　　定型文「展示薬剤○○は、対照薬剤△△と同等の効果が認められた。」

その他のコメントは、定型文のあとに記載。

(2) 薬害の状況(生育状況，薬害の有無，様相，程度)

　(3) その他(散布の難易，普及上の問題点，気付いた点、農家の感想等)

８　評価

　下記により該当するものに○印をする。

　Ｂ、Ｃと評価した場合は、「７　考察」にその理由を記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　　　　　　評価展示薬剤 | 効　果 | 薬　害 | 総合評価 |
| Ａ | Ｂ | Ｃ | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ａ | Ｂ | Ｃ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

 　Ａ：実用性有り、薬害無～微　Ｂ：継続検討、薬害少～中　Ｃ：実用性なし、薬害甚